

評価の取りまとめ方（本日の進め方）

1. 本日の進め方

・議題（2）一次評価の妥当性について（資料2）

事務局の自己評価に対して、評価の妥当性の判断（○△×-及びコメント）を取りまとめ、協議の上、評価改善委員会としての評価とします。

湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書 取りまとめ一覧（湖西市地域公共交通網形成計画及び路線別の評価）

定量的な評価基準については、形成計画 P106 を参考に 1 便当たりの乗車人数を参考に総合的に判断した。特にコーちゃんバスの路線については路線毎に一定の基準（1 便当たりの最低乗車人数＝2 人）を設けより詳細に効果的な運行、再編を目指していく。

※自己評価の三段階評価

A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著 B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

※妥当性欄の書き方：「○」一次評価のとおり、「△」加筆・修正が必要、「×」一次評価とは異なる、「-」判断がつかない

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)	妥当性	コメント、意見
公共交通軸	①東海道本線 ・現行サービス水準での運行【継続】(H29～H33 実施)	-	○	
	②天竜浜名湖線 ・現行サービス水準での運行【継続】(H29～H33 実施)	B	○	
	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討 (H29～H33 検討) P1	B	△	近隣市町との情報交換を実施した。

③ 次の事業に進みます。

① 妥当性及びコメント、意見を事務局が読み上げます。

② 妥当性が○のみの場合・・・事務局案のとおりで決定。  
妥当性が△×のいずれかひとつでもある場合・・・資料3内「今年度の取り組みに関する評価」に記載の事務局案をたたき台として、コメントがなければABC判定を協議します。コメントがあれば、内容を精査しながらABC判定を含む協議をします。

今年度評価及び来年度の取組提案（事務局案）

※自己評価の三段階評価

A：事業が適切に実施・検討された、効果が顕著  
B：事業が適切に実施・検討された、一定の効果がある  
C：事業が実施・検討されていない、改善が必要

事業名	事業内容	今年度の取組	来年度の取組提案
	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討 (H29～H33 検討) P1	B	近隣市町との情報交換を実施した。

・議題（3）評価を踏まえた改善策の検討（資料3）

事務局が（資料2）を参考にしながら（資料3）を作成しました。議題（2）での結果を反映させながら、「来年度の取組提案」を協議をいただきます。

